鉄道コレクション対応　点灯化キット　阪急6300系対応

HQ-6300_ml　ライトユニット　説明書

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。

本キットは以下の車種に対応します。
- 阪急6330系（2012年発売）
- 阪急6300系京とれいん（2013年発売）

本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。（チラツキ対策を施しています。）

！ご注意

- この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- 機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- 加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- 加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- 接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- 車両は必ず直流（DC）12V以下で運転してください。交流（AC）は絶対に使用しないでください。
- ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- 脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- 当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

・ヘッドライトユニット	:	1個/セット
・テールライトユニット（兼通過標識灯ユニット）	:	1個/セット
・テールライト用リブ（白プラ棒 0.75mm角×10mm）	:	1本/セット

【その他】

・説明書（本紙）	:	1枚
・導電性アルミテープ（15mm×約120mm）	:	3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
- ・カッティングマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ~~・プラスドライバー~~
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ（ニチバン「マイラップ」，セメダイン「ラピー」など）
- ・カッターナイフ（デザインナイフが望ましい）
- ・楊枝，綿棒など
- ~~・ピンバイス（0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm）~~
- ~~・精密ヤスリ（平、丸、半丸など）~~
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ~~・ポンチ（プッシュピンなどでも可）~~
- ~~・サンドペーパー~~
- ~~・マスキングテープ~~
- ~~・瞬間接着剤~~
- ・遮光用の塗料（黒または銀）

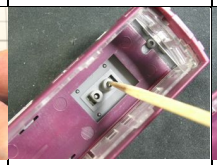
●取り付け手順

1. 分解する

1−1　床板を外す

車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1−2　パンタグラフを外す



パンタグラフは、楊枝などで内側から押して外します。

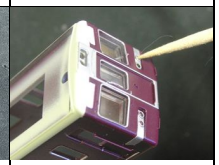
1−3　屋根を外す

屋根は、中央のツメを、内側から外側に向けて押し広げて、外します。

1−4　側窓を外す

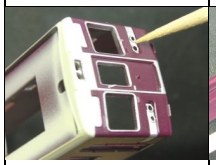
側窓に外します。前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。

1−5　前面透明パーツ外す



前面透明パーツは、標識灯・尾灯・窓ガラス部分を、外側から楊枝などを使って交互に押して外します。

1−6　飾り帯を外す



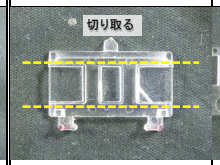
テールライト周辺の飾り帯を外します。外側から、楊枝などで押し込んで外します。

1−7　ヘッドライトレンズを外す

ヘッドライトレンズは、内側から、楊枝などを使って押して外します。

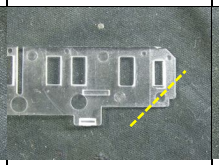
2. 車体を加工する

2−1　前面透明パーツの加工



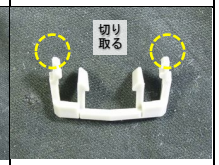
前面窓の直上・直下で切り取り、3分割します。
尾灯・標識灯部分は使用しないので保管します。

2−2　側窓を加工する



側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。ヘッドライトユニットと干渉する場合は、上側もカットします。

2−3　スカートの加工

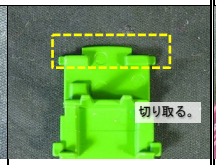


スカートの両サイドのツメのうち、窪みより上の部分を切り取ります。
固定は、ダミーカプラー同受け部のツメを利用し、ゴム系接着剤を併用します。

3. 床板を加工する

（トレーラー車の場合）

ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。



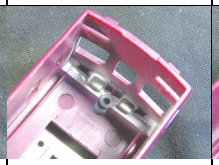
シート前端の運転台機器より前の部分（約2mm）をカットします。

4. ライトユニットを取り付ける

4−1　屋根板をはめる

屋根板をはめます。
なるべく前寄りになるようにはめます。

4−2　目止めをする



屋根と車体の隙間を、木工ボンドで塞ぎます。楊枝などを使って、少し盛り上がるぐらいに塗り、完全に乾燥させます。

4−3　飾り帯周辺を加工する

飾り帯のパーツは、上側に突起がないので、これを補います。付属のリブを長さ5mmに2等分し、飾り帯の穴から0.5mm間隔を空けて、プラモデル用接着剤で接着します。

4−4　ライト周辺を遮光する

ヘッド・テールライト周辺のボディ内側を黒（又は銀）の塗料で遮光します。2～3度塗り重ね、光にかざして、塗りムラのないことを確認します。

4−5　天井裏を遮光する

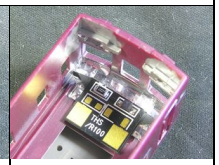
天井裏への光漏れを防ぐために、14mm × 6mmポリエステルテープを、天井から、屋根板にまたがるように貼ります。

4−6　ライトレンズをはめる

ヘッドライトレンズを外側からはめます。
緩い場合は、内側に木工ボンドを塗って固定します。

4−7　ヘッドライトユニットをはめ、遮光する

ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。



まず、3mm × 10mmのポリエステルテープで、基板中央と妻面の間に貼ります。
次いで、3mm × 6mmのポリエステルテープを2枚用意し、上記の左右、ライトユニットのツバと妻面の間に貼ります。

5. 配線する

（4-7つづき）

最後に、4mm × 4mmのポリエステルテープを2枚用意します。前項の左右、ライトユニットのツバと乗務員室扉上の間に貼ります。

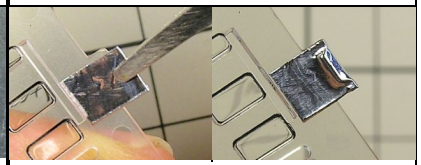
4-8 前面窓ガラスをはめる

前面窓ガラスをはめます。
この段階で点灯テストを行い、光漏れがある場合は、ポリエステルテープを重ね張りするなど対策を施します。

4-9 テールライト基板の設置

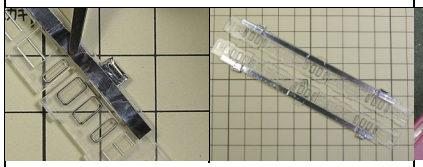
テールライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。

5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る



5mm × 7mmのアルミテープを4本用意します。
側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。
両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。

5-2 側窓下にアルミテープを貼る



2mm × 108mmのアルミテープを2本用意します。（側窓が2分割の場合は、3mm × 93mm）
側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。
両側の側窓に貼ります。

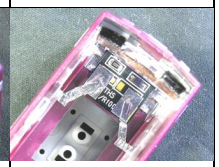
5-3 側窓をはめる

側窓をはめます。
緩い場合は、両面テープ片を使って固定します。

5-4 ヘッドライトへ配線する

1.5mm × 約35mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下まで、L字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。
余ったテープは切り捨てます。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

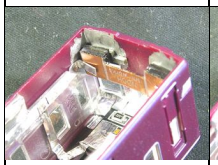
5-5 給電パッドの重ね貼り



ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 5mmのアルミテープを重ね貼りします。

※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5-6 テールライトへ配線する



1.5mm × 12mmのアルミテープで、側窓下部からテールライトの給電パッドまで配線します。
※必ず 1.5mm 幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

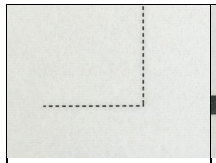
5-7 給電パッドの重ね貼り

テールライト給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

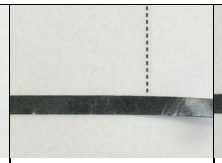
5-8 側窓下の重ね貼り

側窓下の通電の確実を期して、2mm × 9mmのアルミテープを重ね貼りします。
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

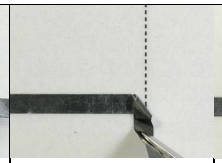
●テープを折り曲げながら貼る



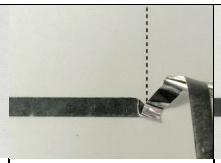
L字形にテープを貼ります。



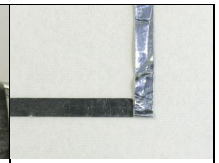
一辺を貼ります。



曲がり角で、一旦反対側に曲げます。



向かいたい方向に、再度曲げます。

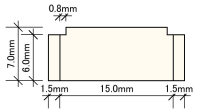


よく押さえて完成です。

●乗務員室仕切りを取付ける（室内灯を取り付ける場合にお好みで）

0. パーツを作る

乗務員室仕切り 型紙



0.5mmのプラ板でパーツを作ります。
（遮光に適した黒いプラ板を分売しています）

1 桟を取り付ける

乗務員室仕切りの桟を、乗務員室扉後部の壁の後寄りに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。

2 仕切りを取り付ける

乗務員室仕切りを、桟の後側に設置します。

HQ-6300 説明書 2.00
2015/11/14 1.00 初版
2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15, 店舗営業はしていません。
phone：0468-27-7261, 10:00～18:00 土日祝休業, e-mail：shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp